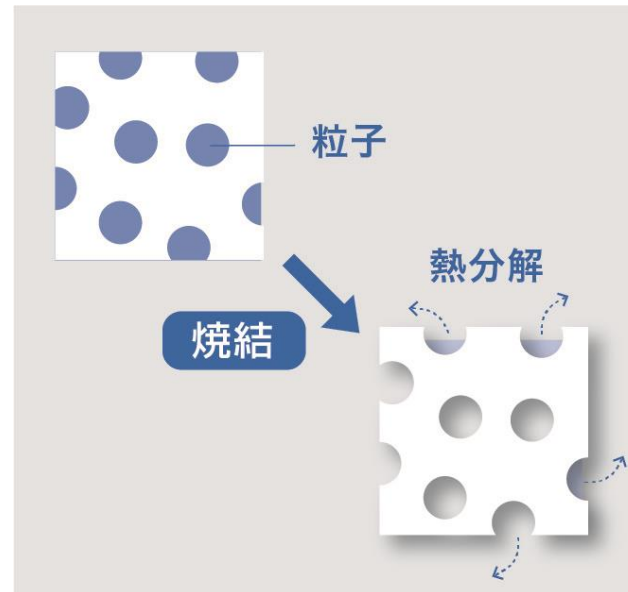


造孔剤

付加機能例

分散性

熱分解性



熱分解性

商品名	10%分解温度	50%分解温度	90%分解温度
FS-102	311℃	332℃	348℃
MG-651	309℃	319℃	455℃

製品名	性状		組成	電荷 (帯電性)	粒子径 (μm)	Tg (℃)	軟化点 (℃)	屈折率	官能基	特徴
	E	P								
FS-101	○	○	アクリル	アニオン系	0.08	60	205	1.49	-	ガラス転移温度が低く、低屈折率なタイプ
FS-102	○	○	スチレン・アクリル	アニオン系	0.08	100	225	1.53	-	ガラス転移温度が高く、高屈折率なタイプ
FS-106	○	○	アクリル	アニオン系	0.1	110	265	1.49	-	ガラス転移温度が高く、低屈折率なタイプ
FS-107	○	○	アクリル	カチオン系	0.1	110	255	1.49	-NH ₂	FS-106 の逆電荷タイプ (カチオン系)
MG-155	○	-	アクリル	アニオン系	0.1	-	-	1.49	-	架橋タイプ 基本エマルジョンで提供
MG-651	○	○	スチレン・アクリル	アニオン系	0.15	-	-	1.51	-	架橋タイプ 耐溶剤性良好
PZP-1003	-	○	アクリル	カチオン系	0.1	-	-	1.49	-NH ₂	架橋タイプ (粉体でのみ提供)

●上記データは代表的な値であり、規格ではありません。